

# アマチュア無線「電子申請 やってみよう in 出雲」を開催 ～ 参加者がパソコンで申請入力を実体験 ～



概要説明



申請入力  
サポートの様様



中国総合通信局(局長:斎藤一雅)では、平成26年3月9日(日)、出雲市において、アマチュア無線局各種申請を対象とした電子申請説明会を開催しました。

総務省では、政府の「行政のオンライン化計画」に基づき、無線局電子申請の利用促進を進めており、中国管内での電子申請率(免許・再免許の全申請件数に対する電子申請件数の比率)は、平成26年1月末現在、65.7%(全国68.4%)となっています。

そのうち、アマチュア無線局は、50.7%(全国48.4%)となっており、中国管内では2人に1人の方が電子申請を利用しています。

このアマチュア無線局の各種申請は、全国的に見ても、すべての申請件数に占める割合が高く(中国管内においても46%を占める)、アマチュア無線の電子申請は全体の電子申請率の向上に大きな効果が期待されます。

このことから、総務省では、アマチュア無線局の電子申請を促進するため、ID・パスワード方式の導入、電子申請・届出システムLiteの導入、そして簡単な再免許システムの導入など、電子申請に際してのユーザビリティの向上に取り組んでいます。

一方、中国総合通信局では、利用促進活動として、中国5県のJARL支部との連携による「ハムの集い」での電子申請体験コーナーの出展や、各地域の関連イベントでの周知活動を行うとともに、日常的に申請窓口での説明・サポートなどを行っています。

今回の説明会は、島根県JARL支部との連携により実現しました。

説明会には、出雲市を中心に10数名の参加があり、中国総合通信局の電子申請担当者をはじめ、電子申請ヘルプデスクの担当者も参加し、個別のサポートを充実しました。

会場には、参加者2人に1台の割合でパソコンを配置し、ネット環境も整え、全体説明の後、ID/パスワードの入力をはじめ、免許・再免許及び変更申請について、参加者それぞれが個別に入力し、サポートを受けながら、実際に手続きしてもらいました。

それぞれの参加者は、担当者のサポートを受けながら、熱心にパソコンと向き合い、今後の利用に関し積極的な声も聞かれる一方で、入力の細かい部分での改善意見なども聞かれ、今後のシステムの改善に向けての参考となりました。

中国総合通信局では、今後も、アマチュア無線局をはじめ各無線局免許人の方々への電子申請の利用促進を進めていきます。

電子申請・届出システム <http://www.denpa.soumu.go.jp/public/index.html>